

⑦意見の概要

関東・東北豪雨による出水状況を写真に収め、洪水の恐ろしさと河川愛護活動を行っている近隣住宅の被害を目にして、河川整備（特に無堤防の解消）の重要性について意見を述べたい。

橋のすぐ下まで洪水が迫り、JR水戸線は不通となり、橋の安全が確保できないと川島橋は通行止めとなりました。大量のごみが流れ、堤防の整備されていないところでは濁流が民家を襲い、多くの住宅が床上まで浸水しました。

私たちの会（鬼怒川を愛する会）が、お花畑として整備している河川敷も洪水で泥がかぶり花はなぎ倒されましたが、コスモスなどはその後きれいな花を咲かせました。近隣の住民はきれいに咲いたコスモス畑を訪れ、洪水被害で疲れ切った心を癒していました。

堤防が作られていない地区に、早く堤防を整備していただき、二度とこのような大きな住宅への被害が生じないよう鬼怒川の河川整備を強く望みます。